

厳選良問

～ 断定表現が強い選択肢を除外すると正解が残る ～

分野

医療・心理系分野

出典

ケアマネ試験(第20回-問題32)

問題

問題 認知症について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 老年期うつ病は、認知症と明確に区分され、認知症に移行することはない。
- 2 せん妄は、興奮を伴うことが多いが、活動性が低下するものもある。
- 3 せん妄の発症の誘因として、睡眠障害、薬剤、環境の変化などが挙げられる。
- 4 せん妄の治療は、誘因にかかわらず薬物治療を最優先とする。
- 5 統合失調症は、軽症化したとしても、その後症状が再発することがある。

ポイント&解答

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★	★★★	★★★	★★★	★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

せん妄や老年期うつ病は、認知症に間違われやすい症状・障害です。以前は、認知症の周辺症状にせん妄が含まれていましたが、現在のBPSD(認知症の行動・心理症状)では含まれないことになっています。ここで注意しておきたいのは、認知症の症状からせん妄が外れたからといって認知症の人にせん妄がみられなくなったというわけではありません。今まで通りみられます。これは考え方として「認知症+せん妄」という合併症といった意味合いに変更されたと捉えておきましょう。

法律系の問題は別ですが、病気、障害、対人関係といった問題の場合、「断定」が強いものから順に並べていくと、選択肢1の「～することはない」や選択肢4の「～かかわらず、～とする」が1位・2位になるかな?と思います。作問者側からみると、「×」にするためには、完全に「×」とする根拠・表現を用いなければならないので、どうしても断定の強い表現になりがちです。

選択肢を読んで全く分からなかったら、この点に注目すると良いでしょう。

解答

2, 3, 5

